

ミャンマーカイン州コーカレイ行 報告 2012.5.25

三生技研株式会社 井口久生

パーアンからコーカレイへ

タイのメーソウツからの、陸路の輸送状況を調べるために、タイとの国境の町ミャワディ行きを計画した。パーアンからミャワディへ至る道路は、外国人の立ち入り制限区域であると言われているが、本当に行くことができないのかどうか確認するためにあえて実行に移した。

結論は、手違いがあり当初の目的地であるミャワディどころか、コーカレイ域内に入ることさえできなかった。検問所で、「ミャワディに行き、ミャワディ商工会議所会頭のティンティンミャさんを訪ねるところだ」と伝えた結果、「以前ミャワディのCCI会頭ティンティンミャさんの紹介状を持ってミャワディまで行ったNGOがいた、との話を聞いた。会頭の紹介状、または迎えの人がおれば、問題なく行くことができるだろう」との返答であった。

結局、コーカレイの入り口で検問所職員から入域を拒否され、事務所にて調書を取られて追い返されることになった。その後パーアンの事務所へも出頭させられ、「外国人の身の安全を考え入域を制限しています。不用意に入ると、案内したミャンマー人を処罰（刑務所入りを含め）することになります」と注意された。

コーカレイの検問所では、ティンティンミャさんのような有力者の招待状さえあれば、入域が可能であることは分かった。検問所の注意事項は、通さないというわけではなく、必ず許可書を取って来て欲しいとの注意でした。

ミャワディ行きの予定行動に関しては、ほとんどが観光になってしまったが、それなりの収穫はあった。

2012/5/25 コーカレイを目指す

- 7:40 パーアンのホテル、ズエガビンを出発 いったん市内へ道は、簡易舗装
- 7:50 川沿いの道に入る（パーアンの端）
- 8:00 コーカレイに向け出発速度は4~50km/h



8 : 1 0 舗装状態が良い時は、60km ほど出ているが、大体 4~50km 位のスピード



8 : 2 5 道 やや悪くなる、
8 : 3 0



8 : 3 4 町中
8 : 4 0 町を抜ける、道は大きな波がある。しかし、10 トン車はスピードを落とさず離合している。
8 : 4 5 畑の中 45k で走行 大きな波有
8 : 5 0 ゴム林を抜け町中へ サミヤードル 給油
8 : 5 3 発やや上り坂 50km



- 8 : 5 8 タマニャー
(スーチーさんも行った有名なお坊さんが居た所、大僧正 2003 年死亡)
- 9 : 0 0 タマニャーを抜ける
- 9 : 0 5 小さな町を抜け、学校を抜ける。揺れは、ひどく 40 k m 程度
4~10 トン車によく会う、もちろん 1~2 トン車に山盛りの車も沢山すれ違う。
- 9 : 1 0 丘陵地帯を走る、路面は、剥げ気味、走行時浪打



- 9 : 2 0 丘陵地帯を走る
- 9 : 2 5 丘陵地帯を走る、路面は、剥げ・ヘコ 2 0 K
- 9 : 3 0 丘陵地帯を走るゴム林、人家ありバスの後ろで 2 5 K のスピード
舗装幅は、4~5m 程度
- 9 : 3 5 田園地帯に出る、離合のため舗装の外に出る 4 0 K
- 9 : 4 0 田園地帯を走る

9 : 4 2 橋を渡る



- 9 : 4 5 高床式の農家の中、凹凸の激しい道を 30Kで走る
- 9 : 4 8 町に入り 9 : 50 に町を抜けるが、50km では、字が書けない。
- 9 : 5 5 田園と村の中
- 10 : 0 0 田園と村の中 50km
- 10 : 0 5 丘陵地帯を走る 60km
- 10 : 1 0 丘陵地帯を走る 50km



- 10 : 2 5 街並みにはいる
- 10 : 3 0 人家を過ぎ 検問所で止められる
- 11 : 1 0 検問所事務所 を出る。

1. Thuriya Win Co., Ltd. Aye Win 社長 打ち合わせ

(5/23 9:30)

1. 1 輸入及び中古品に関して

- 1) 中古品は基本的に輸入禁止というのが、貿易方針である。
- 2) 発電機・機械類は、新品でなければならない。
- 3) タイヤ・エンジンに関しても同様である。
- 4) 輸入品に関しては、Aye Win 側で市場調査をして連絡したい。
- 5) バイクは、中国製が安い

1. 2 合弁会社について

- 1) ミャンマーには、三生が入るのか、井口が入るのか？

Ans. : 井口が入って後から三生が、入ってくる。

- 2) ミャンマーでの合弁会社

- ① 100%ミャンマーの出資会社
- ② 100%外国資本の会社
- ③ 2社投資の合弁会社

Aye Win としては、①を薦める、①の形態に井口が信用できるミャンマー人を置き仕事を進める、代理のミャンマー人に関しては、MOU (Memorandum of Understanding 覚書)を結ぶ。

1. 3 試送のコンテナに関して

- ① Thuriya Win としては、受け取りに問題がある
- ② Mae Sot までは井口が運び Mae Sot から先は、別の会社に運ばせる。別の会社の選択にしばらく時間(2~3週)が欲しい。当方側は、既に出荷しておりもっと短くならないか? 1週間か?
- ③ Mae Sot 経由の荷は、認められていない。
- ④ Mae Sot の受取人の名前を送る。
- ⑤ 再度積み荷のリストを送ること、送れるものには差別がある。
- ⑥ 洗濯機は売れるかもしれない。
- ⑦ 家具は、¥30,000/set
- ⑧ 洗面器の中古は、売れないのでは。新品がいい!
- ⑨ 6/7~8までに Mae Sot の業者を含め連絡する。

2. パーアン (Hpa An)

(5/24)

- 1) バリさんより聞き取り

- ① Mae Sot~Myawadi までの運賃 15,000 バーツ/40ft
- ② Myawadi の倉庫料 15,600 バーツ/月
- ③ Myawadi~Hpa-An 2,560,000Kyt/40ft
- ④ Mae Sot でコンテナからトラックに積み替える。

- 2) Hpa-An Dan さん宅訪問、市内および近郊観光

ステンレスの薄物加工(アルゴン溶接)を行っている業者が居たので見学。

3. Shwe Ginga Minn との打ち合わせ

(5/27 14:00)

- ① 車の購入は、Thuria Win 経由ではなく、直接購入したい。
- ② Shwe Ginga は、貿易会社であるが、アスファルトの白線材料も取り扱ったことがある。
- ③ タクシーは、5年以内（2007年からのもの）
- ④ 中古品に関しては、サンプルまたは写真を見せてほしい。
- ⑤ ベレッタの鍵が、電池の入れ替えが出来ないかも？→至急調べてほしい。
- ⑥ トヨタのプロボックスは、2006年より
- ⑦ 1300cc（1350ccも含む）は、2006年以上
- ⑧ 許可の金額は、現在70万円になっている。
- ⑨ 1000ccの車は、燃費がどうか？
A：巡航時は良いが、発進時にアクセルの踏込が大きくなるため、意外と停・発車を繰り返している場合は、燃費が悪くなる。
- ⑩ Hyburide のバッテリーは、入手出来ないか？
入手は、不可？
- ⑪ 日本の Hyburid 車の修理工場を作りたいのだがどう思うか？
良いと思うが、技術者の事を考えると困難。
- ⑫ 日本の衣料品でデパート等のクリアランスセール品は、入手出来ないか？
A：問い合わせてみる。格安は、困難、理由は、市場の下落を避けるため。
- ⑬ 450KW、750KW のトランスが欲しい、ジーゼルエンジンは、Volvo が多い。

4. Aung Moe Khine Manufacturing Co.,Ltd Yee Hlaing 社長との打合わせ

(5/28 9:30)

- ① 販売は、FOB だけ、20ft コンテナ/9 トン、US\$9/Kg、サイズは、関係ない、season も関係ない。
- ② 日本では、小さいサイズが、人気がある。
箱の記載は、70~100g で12匹入る大きさです。
- ③ 箱の用意は、ミャンマー側で行い、デザインだけをもらっている。
最少ロットの決まりはなく、少なければ、空輸になるだけ、サンプルはないので注文してくれ。
- ④ 生産量は、20ft コンテナの注文に2~3カ月かかる。
- ⑤ 現在冷凍庫を作っている。
- ⑥ 半年後であれば、2トン/月は、可能。
- ⑦ エビを取り扱う計画もある。
- ⑧ 漁船を20隻保有している。
- ⑨ カニは、汽水域のカニです。
- ⑩ 現在注文は、半年待ちで、半年後注文を受けその時点で30%の前払い、BLを送った時点で残金を払う。
- ⑪ 注文から船積みまで2か月必要。
- ⑫ 注文は、全てメールで受けてきて、客の顔を見たのは、初めてとのこと。
- ⑬ 注文は、アメリカが、多い

5. Thuriya Win Lay Lwin 打ち合わせ

(5/28 12:00)

- ① タイヤは、OK 2009年以降の新古タイヤであればOK
- ② 1350cc以下のものは1997年以上であれば良い
- ③ 30~40年前のものを入れ替える予定
- ④ 2007年以上のもの自由に入れられるのは1人/台
- ⑤ 1350cc 1997~2011 1人/台
- ⑥ 多数必要な場合は、ショールームで販売権を買う
- ⑦ ショールームは、クローズが始まった
- ⑧ 中古エンジンは、2007年以降のものが良い

6. ドオン、バリ、ノーマン 他1 打ち合わせ

(5/28 14:00)

- ① 荷物は、Mae Sotで売ってほしい。
- ② 売れ残った品物をドオンさんが運ぶ。
- ③ Mae Sotからの運搬は、ドオンさんのやり方に任してほしい。
- ④ 運搬費用・リスクは、日本持ち
- ⑤ 中古品でも輸入してよいものと悪いものがある。
- ⑥ 良いものは、袖の下を使って入れる。
- ⑦ カインの人たちは、中国のものより、日本の中古品の方が良いと考えている。
- ⑧ Mae Sotに入れた荷物は、荷を出した後川を渡る、橋は、通れない。
通行・運送料は、150~180万/40ftコンテナ
- ⑨ Mae Sotの倉庫は、そんなに高くない。
- ⑩ Mae Sotには、知った業者がいる。
- ⑪ ティンティンミヤは、知っている。
- ⑫ ミャワディでの場所は、確保できる。